

脚折雨乞



脚折雨乞は、鶴ヶ島市脚折地区に伝わる降雨祈願の伝統行事です。かんばつの年に行われていましたが、昭和 39 年を最後に途絶えてしまいました。しかし、雨乞いの持つ地域の一体感を再認識した地元脚折地区の住民によって「脚折雨乞行事保存会」が結成され、昭和 51 年に復活しました。それ以降、4 年に一度行うようになり、現在まで継承されています。

龍神情報

- 長さ 36m ●重さ約 3t ●頭の高さ 4.5m
- 開いた口（直径）1.6m ●太さ（頭部に近い胴回り）6m
- 目玉（直径）0.25m ●角の長さ 4m
- 鼻の穴（直径）0.18m ●頭の幅 2m
- 材料 竹 80 本、麦わら 570 束



鶴ヶ島市ゆるキャラ
つるゴン®

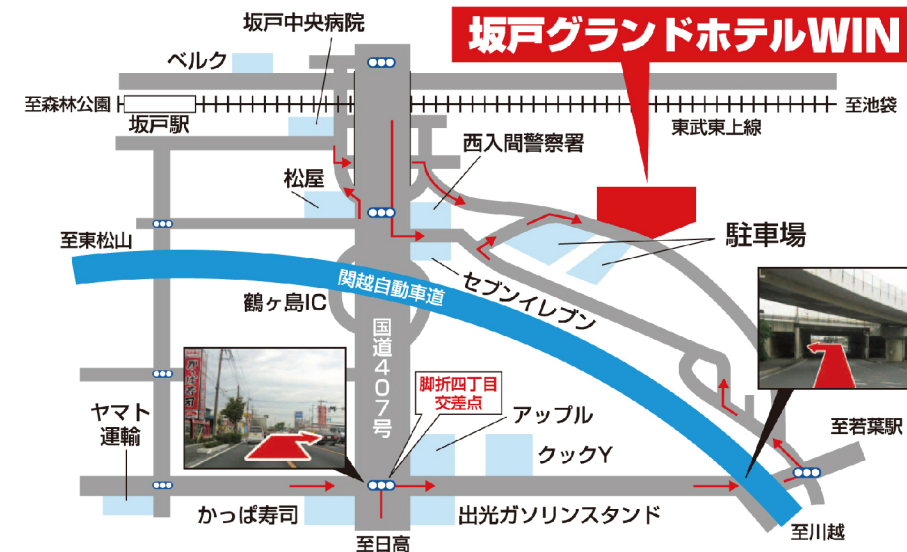
○次回開催は、平成 32 年 8 月 2 日（日）予定

会場案内

坂戸グランドホテル

坂戸市関間 2-6-32 TEL 049-281-4122

交通ご案内



2016～2017 年度
国際ロータリー第 2570 地区
第 1 グループ

インターシティーミーティング プログラム

テーマ

奉仕の心で
地域を活性化



人類に
奉仕する
ロータリー



鶴ヶ島市脚折雨乞行事（平成28年8月7日開催）

日時 平成29年3月12日（日）
受付 12:30 点鐘 13:00
会場 坂戸グランドホテル WIN 2F
坂戸市関間 2-6-32 TEL 049-281-4122
ホストクラブ 鶴ヶ島ロータリークラブ